



松 明

(令和4年11月発行・隔月発行) 2022 vol.6



P4 編集後記より

第76回国立病院総合医学会

療育指導室 児童指導員 田嶋 郷

2022年10月7～8日に熊本県で行われました、第76回国立病院総合医学会に参加してきました。対面式での開催は3年ぶりで、約5000名弱の参加者が来場する盛況ぶりでした。様々な講演やシンポジウムの他、約1,700題の一般演題発表等、充実した内容に、昼食もとるのを忘れて勉強させていただきました。児童指導員や保育士の発表一つ一つに様々な方法や考え方があることを再認識するきっかけにもなりましたし、他職種の発表では専門性の深さに自分の認識の浅さや知識不足を痛感する場面も多くありました。また、他職種に対し自分の業務やその目的を正確に伝えるにはどうすべきかを考えるきっかけにもなりました。福島病院からも口演発表2題、ポスター発表9題の合計11題の発表させていただきました。その内1名について搭乗予定の飛行機が欠便となったため、発表時間に間に合うかが危ぶまれましたが、発表時間直前に到着し、何事もなかったかのように発表している姿にちょっと感動しました。私のポスター発表も緊張の中なんとか発表を終えることができました。発表をきっかけに普段交流のない地域の児童指導員との意見交換をする時間もあったりと、貴重な経験をさせていただいたと思っております。福島病院全員の発表を見ることができなかったこと、赤牛牛丼を食べら

れなかったのは心残りですが、本物のくまモンに会えたこと、ベストポスター賞の一つに選んでいただいたことを励みに今後も精進していきたいと思えます。



本号のご案内

- 第76回国立病院総合医学会 1
- 療育だより 「コロナに負けないPart.6 ～祝！成人！～」… 3
- 第19回 たんぼぼ保育園運動会 令和4年9月17日(土) … 2
- 健康プラザ 散歩のすすめ 3
- 看護部だより 防災訓練 2
- 外来担当医表 4

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

第19回 たんぽぽ保育園運動会

たんぽぽ保育園 保育士 永山千恵

今年度の運動会テーマはウルトラマンです。晴天の下、「ウルトラヒーロー、ゴゴゴー！！たんぽぽーショウワッチ！！」をスローガンにかかげ、9月17日（土）に運動会を迎えました。

競技では普段の遊びの中で出来るようになったことを取り入れ、お子さま一人ひとりの成長を感じられるもの

にしました。

また、親子競技も復活させました。親子で力を合わせ、ウルトラパワーでゴールする姿はとても印象的でした。

勝負での嬉しさ、悔しさなど沢山経験した運動会となりました。



看護部だより

防災訓練

第1病棟 看護師 鈴木めぐみ

今回は1病棟の休憩室から夜間に火災が発生したと想定しての避難訓練でした。訓練を終えて、火災が起こっても慌てず行動することが重要であると感じました。事前にどのように患者さんを搬送するかシミュレーションを行っていましたが、いざ訓練が開始されると現場の緊張感と事前準備とは異なる状況に焦ってしまう場面もありました。実際の火災では少しでも早く多くの患

者さんを火元から遠ざけ患者さんと自分たちの命を守るための行動が求められます。日頃からどのような避難経路があるのか意識し確認しておく必要性、エアストレッチャーの使用方法など定期的な学習会を行い火災や災害に対して危機管理意識を持つことが重要であると感じました。今回の貴重な体験を今後の看護ケアに生かしていきたいと思います。



新年度が始まって早半年、あっという間に11月になりました。今年の福島病院では3病棟1名、6病棟で2名の計3名の患者様が成人を迎えます。新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防対策を講じ病棟ごとの成人式を実施しました。当日には、普段見ることのない晴れ姿に病棟スタッフから「かっこいい!」「大人っぽい!」等の声が掛けられ、患者様たちは緊張し、朝からドキドキが止まりません。しかし、その緊張も久しぶりの家族との対面で和やかな空気となり、時間が経つと晴れやかな笑顔が溢れるようになっていました。式では杉浦院長



の式辞を受けると表情が凛々しくなり、より成人への意識が高まっていたようです。コロナ渦の状況の中でも、たくましく前を向く姿がとても印象的でした。式後には、家族との時間を楽しみながら、成人の祝いとしてプレゼントされた「こどもビール」を飲んで、一服を楽しんだ方もいるようです。なかなか落ち着きを見せない新型コロナウイルスですが、そのような中でも3名の成人のお祝いができたことをスタッフ一同嬉しく思っております。改めて、成人おめでとうございます。



何か趣味を始めてみようとしても、準備にお金がかかったり慣れるまでに時間がかかったりで、面倒になってしまうことがあると思います。散歩なら費用も特にかからず、誰にでもできる暇つぶしになるので、ちょっとした趣味として取り組むのにはぴったりです。

散歩を継続することで基礎代謝や筋力がアップし、運動していないときの消費カロリーも大きくなります。そのほかにも、生活習慣病の予防・改善や、睡眠の質の向上・ストレス解消等、さまざまな効果が期待できます。

散歩を始めてみたものの、「楽しみ方が分からずにすぐ飽きてしまった」という方も多くいると思われます。そんな方には楽しむグッズとして、さまざまなスマートフォンアプリをダウンロードし、散歩の際に利用することをお勧めします。歩数計アプリを使用すれば、客観的にどれだけ歩いたかを把握しやすいので、日々の歩数変動をゲーム感覚で楽しめます。また公園等の安全な場所であれば、音楽、ラジオ、本なども歩きながら聴くこと

ができ、散歩を趣味として楽しむコツが見つかると思います。

少しずつでも時間を見つけ、運動を習慣化することが、病気のリスクを減らすことにも繋がります。人生100年時代。より健康で若いからだを維持するためにも、生活の一部に散歩を取り入れてみるのはいかがでしょうか？



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和4年11月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋			安田千尋
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	根本和夫	伊藤英一	根本和夫	杉浦嘉泰
小児科		福島医大	石井勉 氏家二郎	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)			石井勉 氏家二郎			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2・4)		
小児専門外来		予防接種 (午後)				
整形外科		古川浩三郎		古川浩三郎		古川浩三郎
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- 受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和4年11月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)

診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

福島病院広報誌の表題になっている松明あかしが、3年ぶりに有観客で行われました。松明あかしは、須賀川市で420年続く火祭り伊達政宗率いる軍が須賀川城を攻め落とした合戦で命を落とした兵たちの霊を弔うために始められたとされています。松明17本が燃え盛り、鎮魂の炎が秋の夜空を焦がしていました。(編集委員 T・A)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>